

中山中学校 2年 小倉 綾香

どの見学先も感心することばかりだったけれど、最も良かったことは、この交流事業に参加して頂いた方々と仲良くなることができたことです。

別れるときは、とても悲しくて、日本に戻りたくないなあと思いました。ホストマザーのシェリルが、別れ際にハグをしてくれて、とてつもない寂しさが湧き上がったことは、私の中で久しぶりの感覚でした。

アメリカで知り合った人たちは、良い人たちばかりで余計に辛くて、絶対、「もう一回来よう」と心から思いました。帰ってからは、逆ホームシックのようになりました。あちらで過ごした12日間は、私の中で大きな衝撃でした。

見知らぬ土地で見知らぬ人たちと過ごすことは、最初は不安でしかなかったけれど、素晴らしい土地と、素晴らしい人たちに会えて帰りたくなくなり、「アメリカを日本に持って帰りたい」と思うほど、アメリカという国になじむことができたなんて、私は幸せだなあと思いました。



中山中学校 3年 井上 愛香

私のホストファミリーは4人家族で、娘さんが2人（お父さんは日本におられます。）と2匹の犬、1匹の猫でした。初めて会った時に、何故だか不思議とこの人達と上手くやっていけそうだと思います。

そんなホストファミリーとの別れの時、ホストシスターのRileyは無言で（といっても、顔を涙でぐちゃぐちゃにして）ハグをしてくれました。Alexisも、前日にあげた扇子で顔を隠しながら涙を流していました。Danaがハグしてくれる力は強く、そして温かくて、このまま時間が止まれば良いのと思いました。最後はloveの手話でお別れしました。別れるのは辛かったけれど、この人たちと出会えて本当に良かったです。国籍が違っててもその壁を突き破ってしまうこの研修で、大切な家族と友達、そして研修期間を共に過ごした仲間を手に入れました。最後に、この研修に参加させてくれた家族、サポートしてくれた友達には感謝感謝です。



大山中学校 3年 杉山 碩

私はこの研修に3つの課題をもって取り組みました。1つ目の課題は、今、自分の中にある英会話力を最大限に活用して、現地の人とたくさんコミュニケーションをとってこること。2つ目は、将来、自分がやっていきたいことのヒントを探してこること。3つ目は、新しいことをたくさん吸収し、自分のもっているものもたくさん伝えてこることでした。

テメキュラ図書館を訪れて感動したことは、図書館の環境と窓からの景色です。今までの私の図書館のイメージといえば、「本を借りられる施設」という単純なイメージに過ぎなかったけれど、この図書館からの景色と環境は、私のそんなイメージを大きく覆す迫力がありました。施設の側面には、一面に大きな窓が広がっていて、そこからテメキュラの景色を見渡しながら読書を楽しめるという環境が、図書館訪問者を読書に手招きしているように感じました。



大山中学校 3年 山根 美玖

今回の研修では、異文化にたくさん触れることができました。テメキュラ市の公共施設は、どこも美しく整備されていて、誰もが利用しやすい場になっていました。生活のちょっとしたところが少しずつ違って、新鮮さをたくさん感じました。

ホストファミリーやテメキュラの人達は、本当に私たちのことを温かく迎えてくれて、最後までたくさんお世話をしていただきました。国際交流を通して、これからもテメキュラ市との関係が、姉妹都市として素晴らしいものであることを願います。私は国際交流に参加できて本当に良かったです。いつかアメリカに行き、ホストファミリーと再会できる日が来ることをとても楽しみにしています。今回の研修を支えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。

